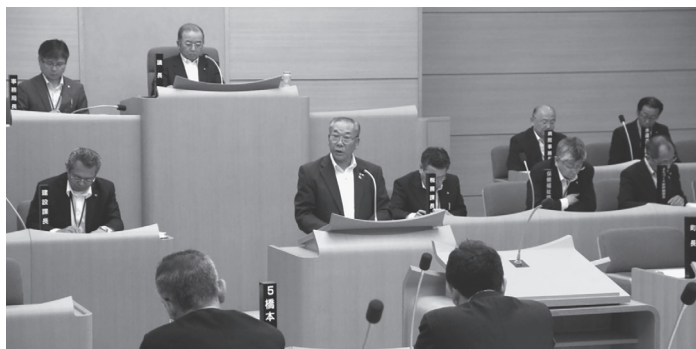


2016・6・16 開会

第2回町議会定例会

平成28年第2回町議会定例会が、6月16日に開かれ、21日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、承認2件、議案5件について審議しました。おもな内容は、次のとおりです。



◆一般会計補正予算(第二号) (専決処分)

五月二十二日に逝去された名誉町民の弔慰金並びに、町葬の執行のため費用歳入歳出にそれぞれ四百三十万円を追加し、予算総額を四十三億三千九百九十二万二千円とする補正予算を地方自治法第七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆国民健康保険特別会計補正 予算(第一号)(専決処分)

平成二十七年年度の歳出に対して歳入が不足となったことから地方自治法施行令第百六十六條の二の規定により平成二十八年年度の歳入を平成二十七年年度に繰上げて補填するための補正予算を地方自治法第七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

北海道町村議会議員公務災害補償等組合から、北空知学校給食組合が脱退することに伴う提案です。

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

北海道市町村総合事務組合から、北空知学校給食組合が脱退することに伴う提案です。

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

北海道市町村退職手当組合から、北空知学校給食組合が脱退することに伴う提案です。

◆財産の取得について

【取得財産】

ロータリー除雪車

【取得金額】

二千八百五十七万六千八百円

【取得の相手方】

北斗市追分三丁目二番三号
北海道川崎建機株式会社函館支店
支店長 熊谷伸哉

◆一般会計補正予算(第三号)

平成二十八年度の一般会計予算に歳入歳出それぞれ四千六百六十七万千円が追加され、予算総額四十三億七千七百五十九万三千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が国庫支出金や道支出金などの追加、歳出は、臨時福祉給付金事業費などの追加です。

木幡町長の 行政報告

= 平成28年6月16日 =

第二回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

町葬の執行

去る五月二十二日、永年にわたり本町の発展に多大なるご尽力をいただきました、長万部町名誉町民、西田君雄様が逝去されたことに伴い、長万部町名誉町民条例第三条の規定に基づき、五月二十五日、二十六日の両日、福祉センターにおいて、長万部町と西田家の合同葬を執り行うとともに、永年の功績に対し、弔慰金の奉呈をさせていただきました。

告別式では、追悼の辞に続き、故人と縁のある三名の方々から弔辞をいただき、在

各会計 決算見込み

りし日のお姿を偲びました。改めて永年のご労苦に感謝申し上げますとともに、安らかに眠りくださいますようお願い申し上げます。

なお、葬儀等に要する費用について、五月二十三日付けで専決処分をいたしましたので、本定例会に補正予算の承認を提案いたしております。

一般会計は、形式収支において一億六千五百八十六千円の繰越しとなり、翌年度へ繰り越す地方創生加速化交付金事業及び情報セキュリティ強化対策事業の財源二千五百九十八千円を差し引き、実質収支一億三千五百四十八万八千円の余剰金を生じました。

歳入は、繰越分を除いた予算に対して二千八百三十一万円の増で、町税が、予算に対し三千八百七十五万円の増となり、歳出は、平成二十八年度への繰越分を除いた実質の不用額は、一億七百七十七万八千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、百七十七万円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、一億一千六百四十三万二千円の赤字となりました。

赤字となった主な要因は、

国・道交付金の収入減及び共同事業拠出金の支出増であります。平成二十七年年度の赤字は、平成二十八年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、五月三十一日付けで平成二十八年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、補正予算を提案いたします。

介護保険特別会計は、二千四百十萬四千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、平成二十八年度に精算されることから、精算額が確定次第、補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、五百四十四萬九千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度対比四千万立方メートル減の十七萬八千立方メートルとなり、ガス売上は六百八十五萬二千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めました。熱量変更費用の償却により、多額の費用

計上となったことから六千四百七十七萬五千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金三億三千八百九十九千円に加えますと、当年度未処理欠損金は三億九千五百六十七萬四千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比一萬三千立方メートル減の六十二萬三千立方メートルとなり、給水収益は百八十一萬六千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により六百二十八萬三千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金七百九十八萬八千円から当年度純利益を差し引きますと、当年度未処理欠損金は百七十萬五千円となります。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は十九％の減少となり、入院収益では一千五百五十六萬七千円の減収となりました。

外来患者数は五・六％の減少となり、外来収益では九百六十五萬六千円の減収となっております。

事業収支では、一般会計から三億一千万円の補助金を繰入れた結果、期末決算では二千五百二十萬五千円の純損失となり、この純損失を前年度繰越欠損金三億一千五百二十三萬一千円に加えますと、当年度未処理欠損金は三億四

千四十三萬六千円となります。なお、各会計の詳細については決算上程の際に係関係資料を提出いたします。

ふるさと納税

長万部町まちづくり基金条例による「ふるさと納税」の平成二十七年年度の寄付状況は、昨年度の一三八一件、一千二百七十二萬八千円を大きく上回る五八五二件、六千六百四十九萬三千六百六十八円と、単年度として過去最高額となり、条例施行後の寄付金総額は七三〇〇件、八千六百五十二萬五千五百六十六円となりました。これは、昨年九月から、寄付者がインターネットで簡単に寄付できるよう、公金支払いサービスを開始したことにより、手続きの利便性が向上したため、寄付者が急増したという状況であります。今後は、寄付者が贈呈品を選択できるよう登録品数を増やし、特産品の全国PRを図るとともに、さらにふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

東京理科大学関係

先月二十一日、葛飾キャン

パスでの東京理科大学基礎工学部創設三十年記念式典にお招きをいただき、お祝いの言葉を述べさせていただきましたところでありましたが、卒業生や教授の方々のお話しをお聞き

する中で、基礎工学部の学生達が学内で最も大学院進学率が高く、退学者数は一番少なく、就職後もそのパフォーマンスとコミュニケーション能力が突出して高いとの評価を受けているようであります。

その要因として、みなさんが挙げられるのは、長万部で過ごされた一年間が、優秀な人材を輩出する大きな原動力になっていたということであり、長万部キャンパスに対する期待は、今後もますます大きくなっていくのではないかと強く心に刻まれたところであり

ます。長万部キャンパスにおいても、本年八月二十三日から二十七日にかけて、東京理科大学長万部キャンパス開設三十年記念イベントを開催する運びとなっております。著名人による講演会や、全国から同窓生が集う大同窓会なども開催され、最終日には、三十年の歴史を振り返りながら、長万部町のこれからをテーマに「長万部フォーラム（仮称）」の開催を予定しております。

また、この記念すべき節目の機会に、東京理科大学に対し、三十年間の感謝の気持ち

を込め、本町の産業振興に資する研究費用などに充てたい。だ。く。た。め。の。寄。付。金。を。贈。呈。す。る。こ。と。と。し。て。お。り。、。補。正。予。算。を。本。定。例。会。に。提。案。い。た。し。て。お。り。ま。す。

また、昨年締結した本町と大学との地方創生に係る包括的連携協定に基づく事業の一つとして展開している、再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネス事業については、三月に実地研究用ビニールハウスを設営し、レタスの栽培研究を開始したところであり、引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

北海道新幹線関係

昭和四十八年の整備計画決定から四十年あまり、今年三月二十六日、北海道新幹線の新青森・新函館北斗間が開業いたしました。

当日行われた式典では、光輝く新幹線車両が発光するのを目の当たりにし、十五年後の長万部駅開業への期待に胸が膨らむと同時に、改めて身が引き締まる思いでありました。

開業後一ヶ月間の北海道新幹線利用実績については、対前年比二倍となる一日平均五千六百人とJR北海道から発

表されましたが、本町におきましても、今回の開業を新たなスタートとして、町民のみなさんに効果が実感できる取組を着実に進めてまいりたいと考えております。

一方、新函館北斗・札幌間につきましては、今年三月、町内では初のトンネル工事となる立岩トンネルのルコツ工区が発注され、さらに今年度中には、内浦トンネルの静狩工区が発注される見込みであるなど、いよいよ長万部町内にも新幹線工事の槌音が聞こえてまいりました。

また、トンネル工事の本格化に伴い、鉄道・運輸機構の建設事務所及び宿舍の建築も近く工事が進められる予定と伺っております。

本町といたしましては、引き続き、関係機関と密接な協議を行いながら、早期完成に向けた対応に努めてまいります。

新幹線を核としたまちづくり

新幹線関連の基本計画となる「新幹線を核としたまちづくり実行計画」につきましては、幅広い参加者からなる計画策定協議会での議論やパブリックコメントなどを経まして、今年三月に策定したところであります。

今年度は、町内の交通量推計や道路・公園・駅前広場等の具体的整備を視野に入れた「新幹線駅周辺整備計画（仮称）」を策定することとしており、まちづくりの主役である町民のみなさんをはじめ、周辺自治体や交通事業者などとも連携しながら、実行可能な計画となるよう、一つ一つ検討を重ねていきたいと考えております。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊につきましては、全国から十五名の応募があり、面接試験を実施するとともに、適性などを総合的に勘案した結果、観光分野での支援員として二名を採用し、四月から「インフォまんべ」を中心に活動し、町の様々なイベントにも積極的に参加いただいているところであります。さらに今月から一名を採用し、先進的アグリビジネス事業などの農業分野の支援員として活動いただいております。

引き続き、本町の貴重な戦力として、地域おこし協力隊員の活動がスムーズに行われるよう、積極的な支援を展開してまいりたいと考えております。

JR北海道による町内駅の廃止提案

今月に入り、北海道旅客鉄道株式会社函館支社から担当が来庁され、平成二十九年三月のダイヤ改正に合わせ、函館本線の本町無人駅の内、蔵岱駅と北豊津駅の二駅について、廃止を検討している旨の説明があったところであります。

しかし、該当する両駅とも、現在、高校などへの通学や病院などでも利用され、地域住民にとって生活に直結する必要不可欠で重要な交通手段となっており、両駅の存在する各町内会などからも廃止の撤回要望が強く寄せられているところであります。

今後は、さらに駅を利用される地域住民の利用状況の把握に努めるとともに、JR北海道へ駅の存続について要望するなど、地域住民の交通手段を確保するべく対応してまいりますので、町議会の皆様のご支援も賜りますようお願いいたします。

老人福祉関係

高齢者や心身に重度の障がいを持つみなさんが、社会参加や日常生活の中でタクシ

を交通手段の一つとして容易に利用できるような料金の一部を助成しておりますタクシチケットの交付は、四月十三日から役場窓口で、また十八日に国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。

六月一日現在の対象件数は八五三件で、交付件数は七一〇件、八三・二％であります。

また、九月十九日は敬老の日であります。長寿のお祝いと社会貢献へのお礼を込めて、九月十二日から十四日までと十六日から十九日までの計七日間、老人福祉センターを昨年引き続き無料開放する予定としております。

児童福祉関係

四月一日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員六十名に対し、五十九名の入所となっております。五月に一名が入所しましたので六十名となっております。

一時保育事業の四月の利用は、三歳未満児が五名で延べ四十二日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、一・二年生が三名で延べ十八日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ五十一組百十五名の親子

の利用となっております。

また、放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「なかまど」は、現在、小学一年生一名、二年生二名、三年生二名、四年生一名の計六名の入所となっております。

臨時福祉給付金

賃金引き上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援と、平成二十八年前半の個人消費の下支えに資する暫定的・臨時的な措置として、所得の少ない高齢者等を対象とした年金生活者等支援臨時福祉給付金を六月から支給開始しております。

この給付金制度の給付対象になると思われる方には、既に申請書を送付しておりますが、町広報で広く町民のみなさんへ周知するとともに、関係機関等にもご協力をいただき、適切に事業を進めてまいります。

なお、今後は昨年同様の臨時福祉給付金を含め、高齢者向け以外にも、低所得者の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金が予定されており、決まりましたら随時町民のみなさんへお知らせしてまいります。

生活環境関係

平成二十七年度の本町のゴミ収集総量は、約二千九百トンで、前年度と比較して約四十二トン減となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、約一千七百七十七トンで、前年度と比較し二十五トンほど減少いたしました。

ゴミの減量化の一環としては、今年度も衣類の無料回収を五月十九日に町内十三か所の地域会館等で実施し、百三十五kgの衣類を回収することができました。

今後、イベント等にあわせた衣類無料回収も考えておりますが、ゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

防犯灯・街路灯LED化事業

防犯灯・街路灯LED化事業の実施に向け、平成二十八年度環境省所管補助事業である「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用することを条件に、準備手続きを進めております。

事業内容は、町で管理する防犯灯・街路灯四百二十五灯を対象に、十年間のリース方式を前提として、調査・計画策定及び管理台帳・管理図等を委託整備し、LED化への一括更新工事を実施するものであります。

委託業者については、公募型プロポーザル方式により選定する予定であり、LED導入調査事業に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の高温多照により生育は順調に経過しており、五月十五日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレーン用とうもろこしは、播種作業が平年並に進んでいる状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、昨年度から牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、四月町内酪農家の飼育牛は、四月

二十八日に共立牧場へ百九十二頭、五月六日に蔵岱牧場へ八十五頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、五月二十日に六十六頭の入牧が終了し、合計三百四十三頭が入牧しております。

生乳生産量は、一月から四月まで三千三百八十五トン、乳代は三億四百五十一万円となり、前年に比較し二十トンの減となりましたが、乳代では九百七十四万円の増となっております。

黒毛和牛の一月から四月までの販売頭数は八十三頭、販売金額は六千五十九万円となり、前年に比較し、販売金額で八頭の増となり、販売金額では一千七百二十一万円の増となっております。

林業関係

森林環境保全整備事業の静狩地区の地拵・植栽事業三ヘクタールは、四月二十七日に着工し、五月三十一日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木百本の寄贈があり、四月二十九日に同法人主

催の「植樹祭」で、町民参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。

有害鳥獣駆除対策

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が増えているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

漁業関係

基幹産業である平成二十七年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、一万七千六百八十八トンとなり、前年度に比較し七ト

ンの増産で、生産額では五十億六千七百七十一万円となり、前年度と比較し十四億六千二百七十五万円の増収となっております。

また、EU向け出荷は二百五十九トンが水揚げされ、網走管内の加工業者に出荷しております。



渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年三月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約六十四％、変形及び欠殻貝が約二十八％、へい死等の死貝が約八％となっており、例年と比較し外部異常貝の発生が多く、来年以降の生産量が減少する恐れがありますので、関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成二十七年度は六百五十五トンで、前年度に比較し三百九十八トン減少し、漁獲額は二億

五千四百五十九万円となり一億四千六百十二万円の減収となっております。

長万部町水産廃棄物リサイクル施設については、長万部町内の水産加工処理により生ずるホタテウロを効率的、衛生的かつ安全に処理するため、管理及び運営を委託しておりますが、委託先である長万部漁業協同組合より、施設で処理されたホタテウロ乾燥品の品質を向上させ、安定的かつ効率的に製品を販売するために、製品販売先との業務提携を図りたいとの申し出があったことから、長万部町としても委託方法について検討し、平成二十八年より製品販売先との業務提携を認め、契約をいたしました。今後も長万部漁業協同組合と連携を図りながら施設の運営を適切に行ってまいります。

商工観光 労政関係

地域消費の喚起を図るため、長万部商工会が平成二十七年に実施したプレミアム付商品券発行事業については、八月と十月の二回にわたる額面総額一億三千二百万円を発行し、換金までの全ての事業が完了いたしました。これらの消費喚起効果は、アンケート調査を実施した結

果でも地元消費の拡大、地域経済の活性化が認められました。

なお、中小企業を取り巻く環境は、緩やかに改善しているところではありますが、本年度も事業経営のさらなる安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、本年三月の北海道新幹線開業効果を最大限に活かしていくため、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の北渡島檜山四町地域による観光での広域連携を進めております。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、インターネットで町の観光情報を積極的に発信しており、町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股らちうむ温泉の案内、飲食店や商店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。さらに、長万部町の特産品や土産品などを取りそろえ販売しており、観光客に好評を得ております。また、各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協

議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、景気の緩やかな回復と人手不足などを受けた企業の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の三月卒業生の就職率は一〇〇%となっております。

建設関係

建築事業では、町営住宅はまなす第三団地非常灯バッテリー交換工事を六月十七日までの工期で、現在、施工中であります。

その他、各公共施設や公営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。土木事業では、町道浅見線概略調査業務委託を平成二十九年三月十日までの委託期間で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を十一月十四日までの工期で発注しております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

また、第二回臨時会において補正予算の議決をいただいたロータリー除雪車購入の入札を五月二十五日に行いましたので、地方自治法の規定により、本定例会に購入契約の

締結を提案いたしております。

公園関係では、あやめ公園は四月十五日に、長万部公園は四月二十二日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くのみなさんに利用されております。

また、長万部公園キャンプ場照明設備改修工事を、六月十七日までの工期で、現在、施工中であります。

その他、公園管理作業用トラクタは、六月一日に納入されております。

公共下水道 事業

終末処理場汚泥供給ポンプ分解整備工事は、九月三十日の工期で施工中であります。

水道関係

静狩地区一号水管橋補修工事及び長万部浄水場一号ろ過機ろ材交換工事は、九月三十日の工期でそれぞれ施工中であります。

町立病院

四月より伊藤内科医長が着任し、生まれ育った町の地域医療に貢献していた、だけのこととなり、町民のみなさんへの診療体制が一層充実されたところであります。

また、北渡島・檜山医療圏域における医療連携として、今金町から派遣要請があったことから、今月より週一回、今金町国保病院へ医師の派遣を行っております。

病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、今後も地域に根ざした信頼される町立病院を目指してまいります。

教育関係

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者二十七名から申請があり、百三十一万六千七百三十六円を五月十日に指定された口座に振り込んでおります。

次に、長万部高等学校通学費補助は、国縫及び黒松内町等の通学者三十名から申請があり、二百四十一万三千二百四十円を支給決定しております。また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の

給付や貸付けは、国公立大学
生三名から申請があり、奨学
金運営委員会を開催し給付等
の決定をしております。

消防関係

五月末現在の火災件数は二
件で、うち、建物火災が一件。
野火が一件発生しております。
救急件数は百八件、搬送人
員は百四名で、うち、急病が
五十三件、交通事故が八件、
一般負傷が十二件、その他転
院搬送などが三十三件で、ド
クターヘリによる施設間搬送
が二件となっております。



火災予防の事業では、春の
全道火災予防運動期間中に、
ホテルや大型店舗など不特定
多数の方が出入りする施設へ
の防火査察、一般住宅の防火
点検並びに住宅用火災警報器
の設置状況を調査するととも

に、女性消防団員による街頭
啓発を実施いたしました。

また、今年度におきまして
も、子供から大人まで広く町
民のみなさんに防火・防災に
ついて理解と関心を深めてい
た、ため「おしゃまんべ消
防フェス」を開催するなど、
火災予防の推進に取り組んで
まいります。

消防団の状況については、
六月一日現在の団員数は百四
十七名で、うち、基本団員が
百十名、女性団員が十六名、
機能別団員が二十一名で、昨
年同期と比べ四名増加してお
ります。

また、消防団の装備につい
ては、国縫分団の消防車にA
EDを搭載したほか、平成二
十八年度コミュニティ助成事
業のうち、地域防災組織育成
事業助成金を用いて、救助
ボートや救命胴衣・流水対策
用胴付を配備するなど、今後
とも消防体制並びに消防装備
の充実強化を図ってまいりま
す。

終わりに、本定例会に提案
した議案は、専決処分の承認
や規約の変更、一般会計補正
予算など七件となっております。

議案上程の都度、担当説明
員から説明させますので、よ
ろしくご審議くださるようお
願い申し上げ、行政報告を終
わります。

おしゃまんべ消防フェス2016



- とき 平成28年8月6日(土)
午前10時00分～11時30分
- ところ 長万部町消防本部前



●●● 防災の大切さを体験して学ぼう ●●●

今年も消防フェス2016を上記の日程で開催します。昨年同様各種体験（消防車の乗車・放水・煙・消火器）等のイベントを予定しています。また、参加者には無料で焼き鳥、焼きそば等の引換券をご用意しています。夏休みの思い出作りに家族揃って消防署までお越し下さい。



※食べ物コーナーは数に限りがありますので、お早めにお越し下さい。
火災・災害発生時は中止とさせていただきます。(雨天時一部変更もあります)



入居者募集

(有料広告)

●●●●● 御相談に応じます ●●●●●

正 堀川アパート

☎ 01377-2-2377 携帯 090-4872-6235

ストーブ・ベッド・その他完備、駐車場完備、敷金なし
月額 23,000円から45,000円まで